



特定非営利活動法人

# 医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.12 (93)

2011.12.27

東日本大震災や台風 12 号の大雨災害など大きな試練を我々に課した 2011 年も漸くにして暮れようとしています。「苦あれば楽あり，楽あれば苦あり」の古諺にもあるように，来たる 2012 年に何となく明るい兆しがみえるようです。

ただし、「先が見えるからやるのではない．肚を決めてやっていく内に先が見えてくる」の激励に近い箴言もあります．来たる 2012 年を会員の方々とともに強い気持ちで挑戦していきましょう．皆様，佳い年をお迎えください．

1 ウィンター・フォーラム 2011 が以下の次第で開催されました [敬称略]．

日時：2011 年 12 月 3 日(土)． 9 時 30 分～17 時 30 分．

会場：大阪大学 大学院基礎工学研究科 J 棟 120 号室．

当日には，会員の方々の今年一年の業務，学業，遊学に関する 2011 年の総決算ともいべきご報告があり，大変に有意義でした．報告者を含め 38 名の方々にご参加いただきました．

納会：同日 18 時 30 分～21 時．

会場：「音羽茶屋 池田総本店」：大阪府池田市井口堂 1-13-12 [TEL：072-763-1237]

参加者：35 名

納会では，和気藹々の中に 2011 年の喜怒哀楽の思い出話などで盛り上がりました．





—ウィンターフォーラムでのひとこま—

② 定例研究会 2011-12-12[東京]が以下の次第で開催されました[敬称略].

日時：2011年12月12日(月). 13時30分～17時30分.

会場：ファイザー(株) 2102 会議室.

演者・演題

丸尾和司：加速モデルにおける共変量の誤特定について.

五十川直樹：Bayes 流接近法の予測性能評価.

丸山奈美：国際共同試験の日本人症例数を再考する.

高瀬貴夫：Diagnosis of longitudinal models for binary data.

古川泰伸：Statistical investigation of bioequivalence based on comprehensive nested hypotheses.

河合統介・丸尾和司：2項分布の差の正確な信頼区間.

後藤昌司・越智義道：デザイン・実施・解析：『統計的経験則』第6章  
(Gerald van Belle,2002).

[討論者：柴田義貞・魚井 徹・藤澤正樹]

最近の研究・開発の進捗に絡めて、活発な意見の応酬がありました。課題検討会は「みょうがや」で開かれ、9名の方々が参加されました。次回は定例会[大阪]2012-1-21との共催で2012年1月21日(土)に大阪大学基礎工学研究科で開催の予定です。

③ 2011年11月24-25日に開催されました特定主題セミナー2011「臨床評価におけるデータマネジメントの過程」に参加された方々からいただいたアンケートをご紹介します。アンケートをお寄せいただいた方々に深く感謝いたします。

データマネジメント業務の開始から終了までの一般的な手順を確認できる講義内容だったと思います。講義を受けることで、当施設の手順を振り返る良い機会になりました。統計の講義は、理解しやすい内容でした。機会があれば、生存時間解析についての講義を拝聴することができればと思います。CDISCの講義は、今まで受けてきたセミナーでは中々聞けなかった内容でしたので、基本的な内容とはいえ、理解の助けになりました。DM 計画書・報告書の講義では、考え方などが伝わる内容でしたが、具体的事例があれば、より理解しやすかったように思います。また、他の出席者からの質問により職場環境、習慣の違いを知ることで、異なる視点を養うことができ、今後の業務に幅をもたせることができたように思います。演習問題で、他の出席者との考え方の違いを知ることができ、非常に有益だったと思います。データマネジメント業務の各ステップで、多くの選択肢があるということ、また何れを選択するかは、業務目標や環境を十分に考慮しなければならないことを学ぶことができました。演習で、CDISC 標準で DB 構造を作成できるセミナーがあればよいと思います。..... (U.R)

私自身が紙試験での経験をベースにデータマネジメントについて理解を深めていく段階であったため、全体的に理解しやすかったです。復習になりました。どうもありがとうございました。SDTM の内容についてもう少し詳しく知りたいと思いました。EDC の CSV 文書関連や適合性書面調査などの内容について、深く学びたいと思います。..... (Y.S)

私は 10 月に営業 (6 年間) より開発本部に異動してきたばかりでしたので、実務経験の全くないままセミナーに参加してご迷惑をおかけしましたが、DM 概論、CRF 設計、DB 構造の標準化、信頼性調査などの講義も初めて学習することばかりで、この 1 月で言葉だけを知っていた単語の概要を少しは理解できるようになりました。ただ、やはり実務経験がないとイメージが沸きにくいのが実情でしたので、もし今後弊社で DM 業務を行うような治験が起これれば、様々な疑問点なども生まれてくると思いました。また、懇親会ではセミナーに参加された他社の開発本部の方から貴重なお話しをお聞かせ頂いて大変に有意義でした。..... (K.M)

4 Joint meeting of Taipei Symposium 2011 and 7th IASC-ARS が以下の次第で開催されました。

日時：2011 年 12 月 16-19 日。

会場：Academia Sinica, Taipei, Taiwan.

以下に、講演されました本研究会の会員の方々とその題目を以下に記しています[敬称略]。

URL：<http://Joint2011.stat.sinica.edu.tw/>

Sakamoto, W. : Selecting variance structure in mixed effect models.

18a7 [ Model/Variable Selection ]

Dec.18 10:30 - 12:00

Takase, T., Sakamoto, W., & Goto, M. : Diagnosis of longitudinal models for binary data.

18a7 [ Model/Variable Selection ]

Dec.18 10:30 - 12:00

Furukawa, Y. & Goto, M. : Statistical investigation of bioequivalence based on comprehensive nested hypotheses.

17d4 [ Clinical Trials (III) ]

Dec.17 16:30 - 18:00

Yamaguchi, Y., Sakamoto, W., Shirahata, S. & Goto, M. : Reconstruction of

5 平成 23 年度中に予定されていますフォーラム, シンポジウム, 啓発活動および連携事業を以下に列記いたします。『医学統計研究会の現況』(会報 6)でもご覧いただけますが, 日時などが変更されていますのでご注意ください。

(1)特定主題シンポジウム 2012「初期臨床開発の意思決定」が以下の次第で開催されます[敬称略]。なお, プログラムは既に本研究会のホームページに掲載しております。

日時: 2012 年 2 月 4 日(土)。

会場: アステラス製薬(株)。

組織者: 伊藤雅憲・藤澤正樹・魚井 徹。

先にご連絡した日程が変更されていますのでご注意ください。

(2)大分統計談話会・第 45 回大会が以下の次第で開催されます[敬称略]。

日時: 2012 年 2 月 16-17 日。

会場: 富士通大分システムラボラトリ 2F AV ホール。

前谷俊三先生(公益財団法人 天理よろず相談所病院 医学研究所)および P.C.Wang 先生(Chang Gung University)が以下の演題で特別講演されます。

前谷俊三 (公益財団法人 天理よろず相談所病院 医学研究所) :

Boag モデルに基づく癌の生存分析。

P.C.Wang (Chang Gung University) : Factional experiments in blocks of size two.

(3)これまでに本研究会で開催して参りました定例シンポジウム, 特定主題シンポジウム, 特定主題セミナーの資料集を頒布しています。各主題の資料集について, 目次とその残部(数)をホームページに提示しています。必要な方はご連絡いただくと幸いです。送料込で ¥3,000 です。

(4)日本心血管インターベンション治療学会誌(CVIT)に以下の連載『医学統計入門(4)』が掲載されています[別刷の必要な方はご連絡いただくと幸いです]。

下川敏雄・松原義弘・後藤昌司. 統計的視覚表現法. 日本心血管インターベンション治療学会誌 (CVIT),3(3),171-185,2011.

---

編集後記:先月末に本研究会の事務局へのメールが不通になる事態が発生し, ウィンターフォーラム前ということもあり, 会員の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。原因はプロバイダ(yahooBB)の不具合だったようです。初めての事態に大慌てしましたが, 2日間の「空白」で解決いたしました。今後にかけて時務応待には注意を払って参ります。

---

Newsletter 編集:

後藤昌司・栗林和彦・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先: 医学統計研究会 事務局 [亀山 日名子・後藤 孚・山口祐介・大山秀輔・横山隼人・吉川隆範]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra\_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。